

病害虫防除対策

■水稻一斉防除計画(ドローン・ラジヘリ)

・7月16日より管内各地区にて、ドローンまたはラジコンヘリによるカムムシの一斉防除を実施中です。

今後は下記の散布日程にて防除予定ですので、皆様のご協力をお願いします。



散布地域	散布予定日 (1回目)	散布予定日 (2回目)
吉野全域(芝原除く)	7/18(火)	7/31(月) 3回目 8/12(土)
大虫全域	7/19(水)	8/1(火)
国高 (横市・塚・庄)	7/20(木)	8/2(水)
神山 (池ノ上・広瀬(一部)・岡本)	7/20(木)	8/2(水)
北口野(東) (西尾・庄田・荒谷・平林・大手・岩内・大屋・萬岡)	7/21(金)	8/3(木)
北口野(西) (矢船・矢船・帆山・小野谷・向新保・畑・西谷)	7/22(土)	8/4(金)
味真野全域	7/24(月)	8/5(土)
白山 (安養寺・栗野・小杉・牧・若須・萩原・鶴ヶ平除く)	7/25(火)	8/6(日)
坂口全域	7/26(水)	8/7(月)
王子保 (白崎・国兼・大塩・森久・今宿)	7/27(木)	8/8(火)
王子保 (中平吹)	7/28(金)	8/9(水) 3回目 8/17(木)
北新庄全域 ※8/22は北町のみ	7/29(土)	8/11(金) 3回目 8/22(火)
南条 (牧谷・上別所・関ヶ鼻・上平吹)	7/16(日)	7/26(水) 3回目 8/5(土)
今庄全域	7/21(金)	7/29(土)～ 31(月) 3回目 8/7(月)～ 10(木)

※JAが実施する一斉防除の詳しい散布区域に関しては、ホームページよりご確認できます。



【雨天延期時の日程と注意事項】

- ・当日の天候回復が見込める場合
- ・天候回復が見込めない場合

散布時間を遅らせて散布します。
予備日や他地区の終了後に散布します。



QRコードは
こちらから

■仕上げ防除を実施しましょう

・近年の温暖化による積雪量や日数の減少により、大型で生息期間の長いクモヘリカムムシなどが多発傾向にあります。積雪日数があっても、草刈りをしていない水田周辺雑草地では特にカスミカムムシ類の発生が多く、すでに圃場内への侵入も確認されています。

【注意点】

- ・本田防除の際は畦畔も含めて防除し、雑草の多い圃場や休耕田の周りは徹底して防除する。
- ・出穂7日前以降の草刈りは本田への侵入を助長するため行わない。

※特別栽培米の場合は、一斉防除を含め所定の剤での2回防除となっていますので注意しましょう。



【防除薬剤】

エクシード粉剤 DL 3kg/10a 収穫7日前まで
アルバリン粉剤 DL 3kg/10a 収穫7日前まで



■いもち病対策 ~葉色が濃い圃場で要注意・病斑を見たら直ちに防除~

・予防剤を散布していない常発地や生育旺盛で稻体が軟弱な場合はいもち病の発生に注意しましょう。特に出穂後の穂首いもちは多発すると大減収となりますので、万が一発病したら、治療効果がある薬剤で早急に防除しましょう。



治療効果のある薬剤



ブラシン粉剤DL 3~4 kg/10a

収穫 7日前まで

※散布後 4~5 時間程度降雨がなければ散布可能

オリブライ特粒剤 1 kg/10a



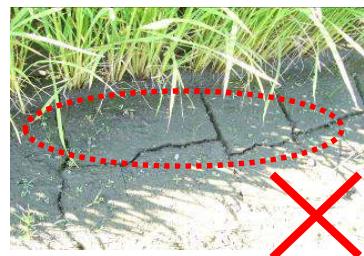
※発生を確認したら雨の止み間をみてブラシンを散布し、いもち病を止めることが基本となります。降雨が続いてブラシンの散布が困難な場合には、オリブライ特の散布をお願いします。

注意:特別栽培米の場合は移植・直播ともに散布できません。

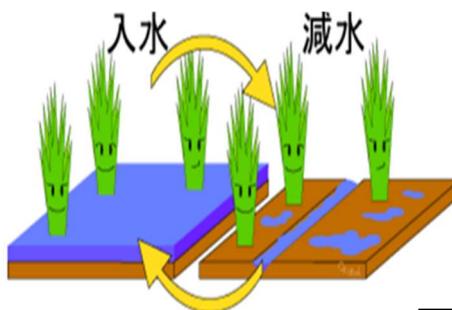
収穫までの水管理

■乳白・白未熟粒対策 ~収穫直前までの間断通水を!~

・出穂期はイネが最も水分を必要とする時期で、幼穂形成期～収穫直前まで水分がある状態を保つことが大切です。特にコシヒカリでは、2等以下の格落ち理由で一番多いのは乳白、白未熟粒被害です。その要因として登熟期間中の水不足による稔実不良が主な原因と考えられ、併せて胴割れ米の発生にもつながりますので収穫直前までの間断通水を徹底しましょう。



間断通水のイメージ



高温時の湛水は根腐れしやすいので、3日以上は行わない。



幼穂形成期以降の水管理



水を貯めっぱなしにする



入水 ⇒ 自然落水 ⇒ 乾く前に入水

入水は夕方にし、夜温を下げるようしましょう。

